

思斉のしせい

大阪府立思斉支援学校 支援室だより 第42号 令和3年5月7日 飯田絵美

第42号から愛着をテーマにしていきます。

愛着(アタッチメント)とは?

愛着とは特定の人と結ぶ情緒的な絆のことです。英語ではアタッチメントと言い、アタッチメントとは触れてくっつくことです。何のために触れてくっつくかというと、子どもが安心するためです。この安心という言葉がとても大切です。

では愛着とはどのような機能を持つものなのでしょうか?3つの機能に整理して考えることができます。

- ① 安全基地としての機能…恐怖や不安を感じる場面での確実な避難場所となる。
- ② 安心基地としての機能…その人といるとほっとする、癒される。ポジティブな感情を生む。
- ③ 探索基地としての機能…いつでも逃げ込める安全基地があるということを感じながら冒険する。



愛着行動の始まり

O歳後半を過ぎると人見知りが始まります。安心できる人とできない人を認識できるようになり、不安を感じると泣いて訴えます。ハイハイができるようになると、不安を感じた時に養育者に寄っていきます。泣いたり、接近したりという行為が愛着行動です。愛着行動を繰り返し養育者に受け止めてもらうことで愛着が形成されていきます。

第43号も愛着についてです。